



第47回広島三育学院高等学校卒業式

やまびこ
2024

2

2023年度学校目標：「Walk in Love as Children of Light」(光の子として愛に歩みなさい)

「高校卒業式を終えて」

先月、1月21日に第47回卒業式を挙行することができました。コロナも5類に下がり、コロナ禍前と同じように、卒業生、在校生、保護者・ご家族の皆様、そして教職員と同じ会場で、大きな声で讃美歌や校歌を歌い、卒業生39名の門出をお祝いすることができ本当に感謝致します。何よりも、卒業証書授与の時に、一人ひとりと握手ができ、それぞれの3年間苦しかったこと、楽しかったこと、そして頑張ってきたことが2、3秒の間に卒業生達の手から伝わってきたような気が致しました。

今回の卒業生は、開校して初めて学年生徒数が40人を切りました。しかし、誰一人欠けることなく卒業できたことは、本当に嬉しかったことでしょう。彼ら39人は入学してから、コロナの影響や新しい学校づくりのために様々な行事や環境の変化を余儀なくされたにも関わらず、それらを全員で乗り越えてくれました。

毎年1年生は、3学期に2年生になる準備として体験学習法をもとにした冒険教育プログラムを山口県で行っていました。しかし、全国的にコロナの感染が拡大し施設が使えなくなり、キャンパス内に講師を招いて行いました。皆、このプログラムを校外で行うことを楽しみにしていたのですが、気持ちを切り替えて積極的に取り組み楽しんでいました。この取り組みがあったので次の年からも引き続きキャンパス内で行っています。

2年生の3学期に行った修養会では、現地から学校に戻ってくる日が大雪で、移動困難な状況になり、到着が大幅に遅れる事態となりました。しかし誰一人不満を言わず、車内で皆、楽しく大声で賛美し続けたと引率教員から報告がありました。バスの運転手さんは、そのような生徒たちと長時間過ごし、「こんな高校生に会ったことがないな」と好感を持たれたことと思います。

3年生になる時は新しい学校づくりのために大きなチャレンジを強いられました。中学校と高校の寮を統合し、新しい同袍学寮、スマイル寮の運営をすることです。これは教職員も未経験のことでした。中学と高校のそれぞれの寮は、長年作り上げてきた文化や生活習慣がある中で、同じ施設と一緒に共有することになるわけですから簡単なことではありません。しかし、この卒業生は最上級生として新しい寮づくりに本当に尽力しました。不安の中にある中学生が安心して寮生活がスタートできるようにと工夫された歓迎セレモニーの時の光景は忘れられません。寮が統合された後も、いつも中学生側に立って中高の寮役員会議を進めてくれました。まだまだ解決しないといけない課題はありますが、新しい寮づくりをしていく流れが後輩たちに引き継がれたことと思います。

また、昨年の2学期末にキャンパス内でコロナが感染拡大して中止にした聖歌隊やハンドベルクワイアの演奏旅行を、今年は無事に行うことができました。教員も4年ぶりでしたし、生徒達は初の演奏旅行でしたが、最上級生として練習に励み、後輩達をよくまとめ、関西・沖縄の教会や会場で多くの皆様に感動を与えてくれました。

今は予測不可能な時代と言われ、全てを計画通りに行うことは難しく、現場で状況を的確に判断し、柔軟に対応していくことが私たちに求められています。そのような中、このキャンパスで過ごす生徒達は、柔軟に対応するのに必要なコミュニケーション能力を身に付けています。他人と同じ屋根の下で暮らす寮生活で、同じ釜の飯を食べ、そして大好きなスマートフォンを寮に預けて、不便な生活をすることによって人と向き合い、コミュニケーション能力を育てています。今回の高校の卒業生がそれを証してくれました。本校の生徒達は、人を喜ばせる、人に幸せを届けることができる、他校の生徒や若い人ができない力をつけていると思います。それは、生徒達が新訳聖書マタイ7：12にある「だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」というゴールデnrールの御言葉を知っているからだと思います。

行動指針「Do for Others」を掲げている本校のために引き続きお祈り、応援、そしてご支援をどうぞよろしくお願い致します。

校長 北林 聡

【お知らせ】 1月にお送りした「2024年度行事予定(主なもの)」に記載しております秋のPTAの日程は、10月27日(日)ではなく11月3日(日)に変更いたします。よろしくお願い致します。

高 高校卒業ハイライト 1/20

高等学校では、毎年卒業式の前日の夜に研成会が主催して、卒業ハイライトプログラムを行っています。今年は、これまでお世話になった3年生に、高校を卒業するにあたって楽しい思い出を残してほしいと考えて、このプログラムを企画しました。このプログラムでは、3年生がこれまで過ごしてきた歩みを写真や動画で振り返りながら、3年生と私たちが一緒に過ごしてきたことを思い出し、3年生の皆さんへの感謝の思いと共に3年生の皆さんとお別れすることの寂しい思いで一杯になりました。さらに、3年生の幼年期の写真と保護者からいただいたメッセージを通して、3年生の新たな一面を発見することができました。この卒業ハイライトプログラムを通して、3年生の皆さんが私たちに残してくれたたくさんの伝統を大切にしながら、私たち在校生は新しい学校作りに励んでいきたいと感じることができました。



(高校研成会会長)

高 高校卒業式 1/21

1月21日、私たちは広島三育学院の丘を旅立ちます。

ここでの生活は正直、あっという間に過ぎていきました。私はまだ入学したところのことを鮮明に覚えています。コロナ対策のため2週間の隔離があった後、私たちはこの学校に入学しました。あれから数えてみると約960日をこのキャンパスでこの仲間とともに過ごしました。特に今年は中学生を私たちの住んでいるスミルナ・同胞にお迎えした寮統合や、感染症対策の緩和で多くの行事で行えることが増えたり、沢山の来校者をお迎えしたりなど、私たちの学年にとっては楽しくも、初めての試みや出来事が多くあり、激動の一年といっても過言ではありませんでした。

そんな私たちの生活をいつも支えてくださっていたのは先生方です。時に厳しく、また熱心に私達に寄り添ってくれた先生たちは、私たちの人生において大切なことを、生き方や背中であげてくださいました。ありがとうございます。

そしてこの学校に送り出してくれた保護者の皆さんにも感謝の気持ち

活動報告

でいっぱいです。仕事で疲れているにも関わらず、私達の生活のために荷物を送ってくれたり、学校に来てくれたり、行動一つ一つに愛を感じていました。私達を一番近くで支えてくれて、見えないところでお祈りしてくれて、休み中は温かくお家に迎えてくれて、また忍耐強く私達の成長を見守ってくれて、本当にありがとうございます。三育に私たちを入れてくれてありがとうございます。親元を離れて初めて、どれほど私たちは両親や周りの人に尽くされていたのかわかりました。

後輩の皆さん、今までありがとうございます。私は皆さんを心から尊敬しています。元気でユーモアの塊で、何か行事や企画があると積極的に手伝ってくれる、そんな頼れる一面もある2年生と、落ち着きがありながらも爆発力のある、しっかり者の1年生。来年の学校が楽しみです。あと一年、二年と時間があるように見えて、ここでの生活は一瞬です。だから後悔しないように一日一日を大切に過ごしてくださいね。

同級生の皆さん、今日まで本当にありがとうございます。三年間もちろん楽しい思い出だけではなくなかったけれど、それでも入学してから39人誰一人として欠けることなく卒業を迎えられて本当に嬉しいです。私は失敗もするしいつもギリギリな行動とるし、多くの場面で迷惑をかけてきたけど、いつもみんなに助けられて、ここまで来ることができました。ありがとうございます。みんなのことが大好きです。

スケジュールに追われる忙しくて大変だけど、なんだかんだ好きだったこのキャンパスでの生活は明日からもうありません。だけど、こんなにも充実し、多くの経験を得られることができた学校生活はこれからも私たちの人生において、良い影響をもたらしてくれると信じています。神様ここまで守ってくださってありがとうございます。世界は多くの不幸な出来事が続いていてその中で私達はそれぞれの道をたどります。でもこれからも神様の守りがあることを確信しています。最後に私たちが選んだエイムを読んで終わります。



「戦車を誇る者もあり、馬を誇る者もあるが我らは、我らの神、主の御名を唱える。」詩篇20：8 (卒業生代表)

Schedule for the Activities

中学校

高等学校

中学校		高等学校	
11日(日)~17日(土)	卒業祈禱週	2月	
18日(日)	英検2次	18日(日)	英検2次、PTAフォーラム
19日(月)	課題清算、Ⅲ期出願締切	19日(月)	Ⅱ期入試
		20日(火)	休日
		23日(金)	Ⅱ期入試合格発表
24日(土)	課題学習日		
25日(日)	Ⅲ期入試		
28日(水)	Ⅲ期合格発表		
3日(日)	午後自習	3月	
5日(火)~6日(水)	期末試験	4日(月)~7日(木)	定期考査V
6日(水)	寮お別れ会		
7日(木)	卒業プログラム		
8日(金)	卒業式練習、テスト返却、献身会		
9日(土)	卒業礼拝、研成会プログラム		
10日(日)	第47回卒業式		
11日(月)	テスト返却、部屋替え	11日(月)	返却授業、HRパーティー
12日(火)	テスト返却、特別作業	12日(火)	返却授業、特別配置労働、表彰式
13日(水)	終業式、帰省	13日(水)	終業式、帰省